

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミツ星

コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 聡一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部担当兼総務部担当 (氏名) 坂野 正芳

TEL 06-6762-6939

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,627	4.9	69	124.7	49	△35.7	39	△47.2
26年3月期第2四半期	4,410	2.3	30	△67.2	76	△30.1	74	22.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 86百万円 (6.8%) 26年3月期第2四半期 80百万円 (62.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	6.90	—
26年3月期第2四半期	13.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	9,877		3,990	40.4		697.98
26年3月期	9,425		3,948	41.9		690.62

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,990百万円 26年3月期 3,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	9,500	1.0	180	11.7	170	△22.3	140	△22.5	24.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	6,333,276 株	26年3月期	6,333,276 株
27年3月期2Q	616,772 株	26年3月期	615,650 株
27年3月期2Q	5,717,052 株	26年3月期2Q	5,718,259 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月の消費税引き上げにともなう需要の反動減からの戻りが想定された以上に鈍く、景気回復の足取りは緩慢となっています。

為替市場は、米国の成長以外に牽引役が不在であるという世界経済の先行き不安から、個別経済事象に相場が大きく振れやすい傾向にあり、わが国全体の景気回復にも懸念材料となりつつあります。

一方、海外経済は、米国を除き、慢性的需要不足に直面しています。欧州はデフレ圧力にさらされ、中国は景気対策よりも構造改革を優先しています。また、リーマンショック後、世界経済を支えた新興国経済は、米国の金融緩和政策の終了観測から、金融危機の再燃が懸念される状況となっています。

こうした中、当社グループは中期経営計画の2年目に入り、前年に実施した製販統合型事業部制組織の利点を発揮させ、製品の開発・改良や市場開拓等に鋭意取り組んでおります。

その結果、売上高は4,627百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

営業利益につきましては、ポリマテックおよび電熱線事業では減益となりましたが、電線事業において大幅増益となった結果、グループ全体での営業利益は69百万円（前年同期比124.7%増）となりました。

経常利益は、前年同期53百万円あった為替差益が、為替差損10百万円に転じたことから、49百万円（前年同期比35.7%減）となりました。また、四半期純利益は、39百万円（前年同期比47.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[電線]

当事業の主要な市場である建設・電販向けの売上は、公共工事の増加を背景に、ゴム電線、プラスチック電線共に前年比増加基調で推移しました。売上高は、本年1月に発売した新製品の寄与もあり、2,997百万円（前年同期比9.3%増）となり、増収効果によりセグメント利益は99百万円（前年同期比270.1%増）となりました。

[ポリマテック]

当事業は、消費税引き上げ後の住宅着工件数の落ち込み等の影響を大きく受け、全体の売上高は1,246百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

利益面につきましては、国内売上の減少や材料価格の上昇等により、セグメント損失23百万円（前年同期セグメント利益1百万円）となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間より、平成25年10月1日付けの組織変更に伴い、事業の種類・性質の類似性等の観点から、「その他」として開示しておりました「高機能チューブ関連商品」と「LED関連商品」につきましては、「ポリマテック」に統合しています。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[電熱線]

当事業は、当期に入り、海外商社筋からニッケル価格の上昇を背景とするニッケル系鋼種の受注が増加したことから、売上高は383百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

しかし、利益面では、付加価値の高い極細線の販売が減少したことなどから、セグメント損失6百万円（前年同期セグメント利益2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,563百万円となり、前連結会計年度末と比べ410百万円増加しました。これは主に現金及び預金が481百万円、電子記録債権が42百万円、たな卸資産が30百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が148百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,313百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円増加しました。これは主に投資有価証券が68百万円増加しましたが、有形固定資産全体で減価償却費の計上により27百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は9,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ451百万円増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,461百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が142百万円、電子記録債務が48百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が157百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は2,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ386百万円増加しました。これは主に長期借入金が371百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,887百万円となり前連結会計年度末に比べ410百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,990百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が41百万円増加したことによるものであります。

自己資本比率は40.4%（前連結会計年度末は41.9%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より481百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には1,786百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、75百万円の獲得（前年同期は42百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益48百万円（前年同期は四半期純利益82百万円）や売上債権の減少104百万円（前年同期は50百万円の減少）に対し、仕入債務の減少108百万円（前年同期は70百万円の減少）によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は50百万円の使用（前年同期は41百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出48百万円（前年同期は46百万円の支出）によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は462百万円の獲得（前年同期は110百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入800百万円（前年同期は600百万円の収入）に対し、長期借入金の返済による支出285百万円（前年同期は259百万円の支出）や配当金の支払額44百万円（前年同期は44百万円の支払）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が922千円減少し、利益剰余金が922千円増加しております。なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,304,651	1,786,648
受取手形及び売掛金	3,065,695	2,917,410
電子記録債権	83,162	125,364
商品及び製品	1,006,660	1,099,838
仕掛品	187,880	196,264
原材料及び貯蔵品	372,307	301,215
その他	133,101	136,935
貸倒引当金	△530	△281
流動資産合計	6,152,927	6,563,395
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,952,833	1,951,496
その他(純額)	825,062	799,210
有形固定資産合計	2,777,896	2,750,707
無形固定資産		
	11,722	10,951
投資その他の資産		
投資有価証券	447,503	515,740
その他	39,308	40,319
貸倒引当金	△3,726	△3,726
投資その他の資産合計	483,085	552,333
固定資産合計	3,272,704	3,313,992
資産合計	9,425,632	9,877,388
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,325,858	1,168,583
電子記録債務	361,522	409,889
短期借入金	830,659	830,278
未払費用	36,383	27,118
未払法人税等	27,465	15,631
賞与引当金	68,967	68,978
その他	786,319	940,556
流動負債合計	3,437,177	3,461,036
固定負債		
長期借入金	1,324,481	1,696,143
長期末払金	4,998	254,096
役員退職慰労引当金	253,870	—
退職給付に係る負債	335,143	334,914
その他	121,255	141,182
固定負債合計	2,039,748	2,426,336
負債合計	5,476,925	5,887,373

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,596	1,133,596
利益剰余金	1,716,081	1,710,706
自己株式	△148,439	△148,682
株主資本合計	3,837,756	3,832,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,069	177,006
為替換算調整勘定	1,603	2,855
退職給付に係る調整累計額	△25,723	△21,985
その他の包括利益累計額合計	110,949	157,876
純資産合計	3,948,706	3,990,015
負債純資産合計	9,425,632	9,877,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,410,424	4,627,768
売上原価	3,652,911	3,818,879
売上総利益	757,512	808,889
販売費及び一般管理費	726,645	739,534
営業利益	30,867	69,354
営業外収益		
受取利息	130	165
受取配当金	5,655	6,451
受取家賃	4,640	4,490
仕入割引	3,800	3,760
為替差益	53,592	—
その他	4,677	3,176
営業外収益合計	72,496	18,044
営業外費用		
支払利息	16,346	14,518
売上割引	8,417	11,354
為替差損	—	10,375
その他	2,180	1,989
営業外費用合計	26,945	38,237
経常利益	76,418	49,161
特別利益		
固定資産売却益	38	227
投資有価証券売却益	6,111	—
特別利益合計	6,149	227
特別損失		
固定資産除却損	257	398
特別損失合計	257	398
税金等調整前四半期純利益	82,310	48,990
法人税、住民税及び事業税	10,015	10,399
法人税等調整額	△2,440	△852
法人税等合計	7,574	9,546
少数株主損益調整前四半期純利益	74,736	39,443
四半期純利益	74,736	39,443

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	74,736	39,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,014	41,936
為替換算調整勘定	△16,867	1,251
退職給付に係る調整額	—	3,738
その他の包括利益合計	6,146	46,926
四半期包括利益	80,883	86,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,883	86,370

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	82,310	48,990
減価償却費	76,754	79,195
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32	△249
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,062	10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,769	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△708	△253,870
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	4,548
受取利息及び受取配当金	△5,785	△6,616
支払利息	16,346	14,518
固定資産売却損益(△は益)	△38	△227
固定資産除却損	257	398
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,111	—
売上債権の増減額(△は増加)	50,637	104,379
たな卸資産の増減額(△は増加)	21,834	△31,698
仕入債務の増減額(△は減少)	△70,609	△108,681
未払費用の増減額(△は減少)	△8,340	△9,262
長期未払金の増減額(△は減少)	△12,956	250,709
その他	△85,952	14,055
小計	81,439	106,201
利息及び配当金の受取額	5,785	6,616
利息の支払額	△16,398	△14,557
法人税等の支払額	△28,152	△22,603
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,674	75,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,383	△48,649
有形固定資産の売却による収入	38	860
投資有価証券の取得による支出	△3,052	△3,118
投資有価証券の売却による収入	7,867	—
その他	—	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,529	△50,925
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△180,082	△112
長期借入れによる収入	600,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△259,834	△285,586
配当金の支払額	△44,944	△44,751
その他	△4,204	△7,494
財務活動によるキャッシュ・フロー	110,934	462,055
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,879	△4,789
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	125,958	481,997
現金及び現金同等物の期首残高	859,489	1,304,651
現金及び現金同等物の四半期末残高	985,447	1,786,648

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への 売上高	2,741,953	1,307,211	361,259	4,410,424
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	386	—	267	653
計	2,742,340	1,307,211	361,526	4,411,078
セグメント利益	26,798	1,171	2,897	30,867

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への 売上高	2,997,788	1,246,387	383,591	4,627,768
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	607	—	41	648
計	2,998,396	1,246,387	383,633	4,628,416
セグメント利益 又は損失(△)	99,187	△23,285	△6,548	69,354

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

前第3四半期連結会計期間より、「その他」として開示しておりました「高機能チューブ関連商品」と「LED関連商品」につきましては、平成25年10月1日付の組織変更に伴い、内部管理上における事業の種類・性質の類似性の観点から「ポリマテックセグメント」に統合しました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。